

2016年度 第3回放送技術講座 2年生アナウンス大会 結果・講評一覧

2017/01/29 実施

番号	評価	講評など
----	----	------

審査員

加藤 奈穂	(府立箕面)
谷 典子	(帝塚山学院)
清水 明澄	(宣真)
長谷 智美	(聖母被昇天)
浅田 裕子	(大阪市立南)
阿部 守勝	(東海大仰星)
荒木 俊光	(府立旭)
竹中 泰子	(相愛)
西川 和希	(浪速)

9人の審査員が100点満点で採点し、合計900点で評価しました。

その上で、規定違反(原稿通り読めていない、時間超過等)の大きなものについて減点しました。

その得点を基準として、上位8位をA評価とし、優秀賞としました。

続く20人をB評価、それ以外をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 各会場の審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会
放送コンテスト委員会

2016年度 第3回放送技術講座 2年生アナウンス大会 結果・講評一覧

2017/01/29 実施

番号	評価	講評など
1		欠席
2	B	内容はわかりやすいが、もっと自然なアナウンスを。朗読調になっている。意味のまとまりを考え、テンポを工夫し、伝えたい、大事な点をクローズアップしよう。
3	A	取材ができており、良い原稿。落ちついて聞けるので、良く伝わる。「地域」「地産地消」「大豆」など、サ行タ行に注意。「3番」のアクセントに注意。
4	B	【規定時間に注意】 自然な声でわかりやすいテーマ。「なぎなた」「同好会」発音注意。息づかいと内容を合わせよう。少しマイクに近かったか？
5	B	テーマはいいが、原稿の書き方を考えよう(はじめにテーマを持ってくるとよい。牧口Trの具体的な姿もほしい。)もう少し自然な発声を心がけよう。
6	B	おもしろいテーマで内容はよいが、最初の「～覚えていますか？」は工夫がほしい。うねりあり。滑舌の練習を。「くすのき」の発音に注意。もう少しゆっくり読むと良く伝わる。
7	A	自然な声で良く読めている。テーマの統一感も良い。時々息が抜けるように発音することがある。
8	B	しっかり取材できた原稿だが、ドキュメント番組のナレーションのような原稿。サ行に注意(「出場」「できませんでした」)一文は上から下へ読もう。曲名が伝わりにくい。
9	B	自然ないい声。原稿の作り方に工夫が必要(学校の回し者みたいな内容)。テーマは、多聞？勉強合宿？滑舌の練習を。{～}とおっしゃっての助詞が強い。
10	B	【原稿用紙の形式違い】 いい声で、テーマは良いが、伝えたいことが焦点ぼけしている。サ行に注意。マイクの距離が近かったか？テンポはもう少し遅い方がいいかも？
11	B	通る声で内容が伝わってくる。去年の夏の話題を今更？→今とつなげる工夫が必要。ところどころ音がつながる。力が入りすぎるところに注意。鼻濁音を自然に。
12	C	原稿に難あり(「我が校」は使わない。「私」が入ることはない。漢検の説明は不要で、「私」以外の受験生や学校オリジナル話題を取材する。)漢検の宣伝になっている。何を伝えたいかをしっかりと。基本的な発声練習をしっかりとしよう。
13	B	聞きやすい声。取材もできている。引用と地の文の区別がわかりづらい。最後から2文目、もう少しインパクトがほしいところ。文の途中では一番下まで音を下げないように。
14	B	聞きやすい。自然な声を心がけるともっと良くなる。サ行(ESS、出場)に注意。もうすこし「伝える」気持ちを持って、リスナーを意識して読もう。「くずれて」のアクセントに注意。
15	C	滑舌の練習を。文末のN、ラ行に注意(「～なので」「リタイヤ」)。アクセントを調べる(2月10日、下り坂、20km)。原稿で、毎年やっていることなら詳細な説明は不要。最後のまとめに工夫必要。もっと取材しよう。「リタイヤ」した人の取材をすと生きてくる。
16	A	聞きやすく、良く伝わる原稿。「言語」のアクセントに注意。引用は必要だったか？もっといい材料を探そう。
17	B	低音部が良く出ている。アクセントをよく調べよう(生徒会、看板)リスナーを意識して読もう。マイクに近い。引用文はもっと素直に読もう。技師さん→技師の〇〇さん、食堂の人→食堂の〇〇さん、とするべき。
18	A	良く通る声。話が説明的になってしまい、テーマが見えにくい。アクセントの確認を(きざんだ)。カカク、ふくまれる(無声化)にも注意。

2016年度 第3回放送技術講座 2年生アナウンス大会 結果・講評一覧

2017/01/29 実施

番号	評価	講評など
19	B	自然な発声で読もう。マイクに声を乗せよう。最初の「～知っていますか？」は工夫がほしい。最後の「いろいろなもの」はぼやけてしまう。リスナーを意識して読もう。
20	B	テーマも発音もよいが、原稿が難しすぎる。「春暁倶楽部」が「シンシヨウ」に聞こえる等、サ行が弱い。間に工夫を。最後の一文は不要かも。上から下へ一本に流れるように読もう。
21	B	もう少し元気よく、しっかり声を出そう。マイクをしっかり合わそう。R音等、滑舌に注意(「かざられて」) 作品の指示語「これ」→「この絵」。助詞が長めに聞こえる。
22	A	聞きやすい。内容が良く伝わる。出だしのつかみや最後のまとめも良いが、少し単調に聞こえる(文尾が「～ます」が多いためか) 「2月」のアクセント、サ行に注意。
23		欠席
24	B	【規定時間に注意】 聞きやすい声で、原稿の終わりは良いが、冒頭「うまいですオーラ」は？ 引用文で使った方が伝わるかも。「かお」発音不明瞭、「2月」のアクセントに注意。「粉川」は「粉河(こかわ)」が正しい。取材不足と感じられてしまう。
25	B	意味のまとまりで読もうとしている。学校の情報を伝えるのも良い。教員よりも高校生の存在をもっと全面に出そう。「土器」が聞こえづらい。キーワードなので特に丁寧に発音しよう。
26	B	ハキハキとわかりやすいが、ぶつ切り感あり。助詞が伸び気味。内容の具体例がほしい。「4月」のアクセントに注意。
27	B	【提出原稿が1文抜けている】 ていねいな読みだが、原稿が、テーマがまとまってない、途中から変わる等伝わりにくい。演劇部の部員募集がいきなり！という感あり。「上映会を開始します」→「上映会があります」のように工夫しよう。
28	B	声は良く出て、聞きやすい。テーマを絞って、もっと踏み込んだ取材を(教師でなく生徒に)しよう。文章の途中で一番下まで下ろさない(発声基礎練習をすることで克服できるはず)。
29	A	安定して聞ける。取材に基づく、聞きたいことが伝わる良い原稿。興味を持って聞ける内容。
30		欠席
31	C	【規定時間を超過】 テーマは良く、取材もできているが、冒頭「なので」は不適。引用文が長い。基本は地の文で伝えるようにまとめよう。自然な発声を心がけよう。「2月」のアクセントに注意。うねりもある。
32	B	聞きやすい声で、原稿テーマもおもしろいが、原稿の校正にもう一工夫ほしい(最後の一文は不要。「～かな」は不適。最初の体言止めは難あり) ポーズ長め。声が少しこもる。
33	A	心地よい声で、よく考えて読んでいる。ただ「吹相楽」という漢字が違うことがアナウンスだけで伝わらないのがとてももったいない(これは是非伝えたいポイント) 「2月5日」アクセント
34	A	明るく、心地よいアナウンス。原稿も良くわかる。声が走る箇所や、語尾がつぶれてしまうところがある。「障がいをもつ」→「障がいがある」と表現する。